

新型コロナウイルス感染症 くらし・経済対策(9月補正)

市民と医療を守る

感染拡大防止策と
万全な医療提供体制の確保

横浜経済と 市民生活を守る

経済再生に向けた
企業活動の支援や
雇用対策等困難な状況に
ある方々への支援

新たな日常に 取り組む

学校・地域・行政における
デジタル化等の推進



※詳しくは、2・3面へ

新しい生活様式を取り入れましょう

マスクの着用・手洗い・
消毒・換気の徹底

密閉・密集・密接を
避ける

多人数の会食や
飲み会を避ける

横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター

☎550-5530 ☎664-7296 (毎日9時~21時)

新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者相談センター

☎664-7761 ☎664-7296 (毎日9時~21時)

イベントに参加する際は、マスクの着用をお願いします。体調が悪い場合や、発熱がある場合は参加を控えてください。また、イベント参加の際に手指消毒や検温などをお願いすることがありますので、ご協力をお願いします。

コロナ禍で初めての秋を迎えて

夏の厳しい暑さが和らぎ、朝晩の涼しさに秋の訪れを感じるようになりました。今年は、秋の恒例行事であるお祭りや運動会などは例年どおりの開催が難しく、これまでとは違う秋をお過ごしになっている方も多いと思います。

こうした中でも、地域では街の清掃や防犯パトロールが再開され、コロナ禍にあっても地域の絆をつないでいこうと、会合をオンラインで開催する取組も始まっています。商店や飲食店では、手指消毒や換気の徹底、飛沫感染防止のためのアクリル板の設置など、感染症対策が進んでいます。あらゆるところで、コロナと向き合い、日々の生活や活動を取り戻すため、ご尽力いただいている皆様に、心より感謝申し上げます。



横浜市
市長
林 文子

横浜市は、5月、6月に続き、「くらし・経済対策」として9月に成立した総額169億円の補正予算により、「感染症対策の強化」と「経済再生の実現」の両輪を回していきます。さらに「新しい生活様式」に対応した社会づくりを加速させるため、自治会町内会の新しい活動スタイルや、感染症対策に取り組む事業者の皆様をご支援してまいります。

ズーラシア隣接の里山ガーデンでは、多くの皆様に秋を感じていただけるよう、約120品種25万本の花々で彩られる「秋の里山ガーデンフェスタ」を開催しています。ご自宅でもご覧いただけるよう、会場の映像も配信中です。また、横浜みなとみらいホールをメイン会場に、トップアーティストの迫力ある演奏を「横浜WEBステージ」のサイトを通じてお届けしています。このような時だからこそ、新しい形で自然や芸術などに触れていただける機会を提供してまいります。

どうぞ皆さまも、感染症対策を徹底していただき、充実した秋をお過ごしください。

区役所の開庁時間

○平日8時45分~17時(祝日・休日・12月29日から1月3日を除く)。*昼の時間帯はお待たせする時間が長くなる場合があります。
○毎月第2・4土曜日9時~12時(戸籍課・保険年金課・子ども家庭支援課の一部の業務)。

各種手続・窓口案内・市営交通の案内など(毎日8時~21時)

横浜市コールセンター callcenter@city.yokohama.jp

☎664-2525 FAX:664-2828

市政へのご提案は、「市民からの提案」と明記し、住所・氏名・年齢・電話番号を書いて区役所へ。

横浜市データ

人口:3,757,630人
世帯数:1,731,071世帯
(2020年9月1日現在)



ウェブページから広報よこはま市版・各区版を閲覧できます。

広報よこはま

検索



広報
テレビ
番組



tvk
土 18:00~



ケーブル
テレビ各局

広報
ラジオ
番組

YOKOHAMA My Choice! FMヨコハマ 日 9:30~10:00
横浜流儀(ハラストイル) 文化放送 土 6:50~7:00

ようこそ横浜 ニッポン放送 火 10:47~10:52頃
ホット横浜 ラジオ日本 木・金 16:30~16:35

季刊誌



市役所市民情報センター、
県内・都内の書店ほかで販売

新型コロナウイルス感染症 くらし・経済対策 (9月補正)

本市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、「くらし・経済対策」5月補正・6月補正を通して、さまざまな支援を実施しています。そして、この度、感染拡大防止策と万全な医療提供体制の確保、経済再生に向けた企業活動の支援や雇用対策等困難な状況にある方々への支援、学校・地域・行政におけるデジタル化等の推進に取り組むため、「くらし・経済対策」として総額169億円の補正予算が成立しました。

掲載されているほかにも、さまざまな支援があります。詳しくはウェブページをご確認ください。



各事業の問合せはこちらをご確認ください。



横浜市 くらし・経済

検索

市民と医療を守る



新型コロナウイルス感染症の検査・相談体制を強化します

患者受入医療機関支援事業	市民からのご相談に対して、検査を受けられる医療機関として紹介することに同意した診療所などに、検査件数に応じて支援金を支給します。	【助成額】 検査件数に応じて10～30万円/月
帰国者・接触者外来支援事業	帰国者・接触者外来を開設している医療機関に対し、保健所の依頼に基づく患者などの受入件数に応じて支援金を支給します。	【助成額】 患者など1人当たり2万円
患者搬送体制強化事業	検査が必要な方がスムーズに帰国者・接触者外来などで検査を受けられるよう、患者移送用車両の運行台数を増やし、患者搬送体制を強化します。	【対象者】 自身または家族などが自家用車などを運転できない方

医療機関での受入体制を強化します

重症・中等症患者等受入体制整備事業	入院治療を必要とする陽性患者などを確実に医療機関が受け入れられるよう、医療機関のニーズに応じて医療機器などの整備への助成を行います。	【対象医療機関】 ① 重症・中等症患者を中心に受け入れる医療機関15病院 ② ①以外の医療機関15病院 【助成額】 ①500万円②200万円
重症・中等症患者等入院受入奨励事業	陽性患者などを受け入れた医療機関への支援金を支給します。	
Y-CERT 強化事業	4月に設置した「感染症・医療調整本部 ^{ワイサート} (Y-CERT)」を、横浜市災害医療アドバイザーの協力のもと、年間を通じて運用することで、医療崩壊を防止し、地域医療体制を維持します。	
医療従事者支援事業	医療の最前線で尽力する医療従事者に対して寄せられた寄附金を活用し、新型コロナウイルス感染症に感染した入院患者を受け入れた医療機関に勤務する医療従事者に対して支援を行います。	【対象医療機関】 ① 重症・中等症患者を中心に受け入れる医療機関15病院 ② ①以外の医療機関15病院 【支援額(上限)】 ①1,000万円②500万円

新型コロナウイルス感染症の検査体制と受入体制について

新型コロナウイルス感染症の検査体制

「くらし・経済対策」に基づく補正予算を活用し、渡航歴や濃厚接触歴がある方以外にも、かかりつけ医等の受診の結果、医師が新型コロナウイルス感染症の可能性があると認める方に、保健所を介さずに身近な医療機関で検査を受けられる体制を強化しています。

現在では、PCR検査のほか、LAMP法検査、抗原検査なども行われており、唾液検体での検査も可能となったため、市内における検査実施者数は、4月に比べ大幅に増えています。
※最新の情報は、ウェブページでも公表しています。

横浜市内の陽性患者の発生状況データ・相談件数

検索

新型コロナウイルス感染症の重症・中等症患者受入体制

市内の医療機関のご協力により、4月には重症・中等症患者を中心に受け入れる病床を500床確保しました。感染が拡大した時期でも入院患者数は概ね100名程度で推移したため、十分に対応ができました。



▲感染症・医療調整本部(Y-CERT)

今後、再び流行した場合でも、病床の確保とあわせて、「感染症・医療調整本部^{ワイサート}(Y-CERT)」が円滑な入院調整を行うことで、日常の地域医療と新型コロナウイルス感染症に対する医療を両立させます。

横浜経済と市民生活を守る



企業を支援し、横浜経済を支えます

中小企業の「新しい生活様式」対応支援事業	感染防止対策など、市内中小企業者が取り組む「新しい生活様式」に対応する経費(備品購入、内装工事費)の助成件数を4,000件追加します(市内に住所を置く事業所からの調達・購入が条件)。	【補助率・上限】 中小企業…10分の9補助・上限30万円 個人事業主…10分の9補助・上限15万円 【事前エントリー受付期間】 第2回: 10月12日(月)～10月16日(金) 第3回: 10月19日(月)～10月30日(金) ※事前エントリーは、第1回(8月)～第3回を通じて一度しかできません。
MICE誘致・開催支援事業	MICE主催者に対し、開催費用の一部を助成することで、安全・安心なMICE開催を促進します。	【対象経費】 会場費、オンライン開催費、感染症予防対策費など 【上限】 1,000万円(3分の2補助)
新型コロナウイルス感染症対応信用保証料助成事業	「新型コロナウイルス感染症緊急特別資金」などを利用する企業が、信用保証協会へ支払う信用保証料の助成について、10月末まで実施します。	【対象者】 国制度の実質無利子融資の上限を超えて、本市の「新型コロナウイルス感染症緊急特別資金」などを利用する市内中小企業 【信用保証料助成率】 売上減少幅に応じて4分の1、2分の1、10分の10

雇用・住居の確保を支援し、市民生活を支えます

緊急雇用創出事業	感染拡大の影響による失業率および有効求人倍率の悪化や、解雇見込みの数の増加を踏まえ、雇用情勢の悪化に対応するため、市独自の緊急雇用を実施します。	【対象者】 市内在住で、解雇・雇止め・内定取消などにより職を失った方など
WEB合同就職面接会事業	コロナ禍において、密をつくらず実施可能なウェブを活用した合同就職面接会を開催します。	【対象者】 ①新規大卒者など ②雇用情勢の悪化を契機に求職活動を行う一般求職者など 【スケジュール】 ①2021年2月②2021年3月
生活困窮者自立支援事業(住居確保給付金)	離職や廃業などにより住居を失った、または失う恐れのある場合に、一定期間家賃相当額を支給する住居確保給付金について、支給件数を追加します。	【対象者】 離職・廃業から2年以内の方、または休業などにより収入が減少し、離職・廃業と同程度の状況にある方(収入要件などあり)

新たな日常に取り組む



学校でのICT環境を充実します

学校におけるICT環境整備事業	教育のICT化に向け、1人1台の端末整備にあわせた市立学校の校内LAN環境の整備を進めます。
------------------------	--

地域のデジタル化を支援します

地域ケアプラザ等ICT環境整備事業	「新しい生活様式」に対応したオンラインによる各種講座や会議、相談などが実施できるよう、地域ケアプラザ・福祉保健活動拠点にICT環境の整備に必要な経費を助成します。	
自治会町内会 新しい活動スタイル応援事業	「新しい生活様式」の中、地域の絆をつなぎ、自治会町内会の活動を継続・活性化していくため、ICTを活用した新しい活動スタイルのきっかけづくりを支援します。	【対象】 地区連合町内会(253団体) 【内容】 ICTを活用した会議や情報伝達手段の体験など、地域のニーズに合わせた出張講座・相談などの実施
ICTを活用した郊外住宅団地の新しいつながり創出事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、住宅団地に住む高齢者の孤立化が一層の課題となっている中、地域の医療や介護サービスを担う事業者を中心とした、「新しい生活様式」に沿った住民間の「新しいつながり」を創出するための活動に対して補助を実施します。	

「新しい生活様式」普及推進事業～#横浜新生活部～

「新しい生活様式」に対応した取組を紹介しています

市内中小企業や小規模事業者の新型コロナウイルス感染症への対策など、「新しい生活様式」に対応した取組を動画、SNS、冊子などで発信します。市内経済の好循環を目指し、事業者の皆さんの取組を市民の皆さんと一緒に応援していきます。詳しくは、ウェブサイトを確認してください。

#横浜新生活部 [検索](#)



▲「マスク専用 プレミアムアロマスプレー」の開発 (株式会社コードミー)



▲「うまいぞ!横浜。」市内飲食店のためのデリバリーの提供 (スカイファーム株式会社)

【問合せ】「新しい生活様式」普及推進事業事務局 ☎963-6166 ㊟961-8171

女性の感性が生み出したオリジナル商品・サービスに出会えるウェブサイト!

横浜女性起業家COLLECTION2020

市内を拠点に活躍する女性起業家の商品・サービスが集結したウェブサイト「横浜女性起業家COLLECTION2020」が期間限定でオープンします。出展者それぞれのページでは、女性起業家の自己紹介のほか、コンセプトやおすすめポイントなど商品に込めた想いも紹介しています。



▲紙を使ったアクセサリ



▲野菜を使ったマフィン

【期間】2021年2月26日(金)まで

【内容】アクセサリ・ファッション・インテリア 雑貨・子ども雑貨・食品など
※商品・サービスは、本ウェブサイト上のリンク先の各出展者ウェブサイト(外部)で購入できます。



[横コレ](#) [検索](#)

【問合せ】輝く女性起業家プロモーション事業事務局 ☎211-5595 ㊟228-9079(月～金曜<祝休日除く>)9時～17時

～10月は里親月間です～

里親になってみませんか?

市内には、さまざまな事情により、家庭で生活することができない子どもたちが約700人います。その多くは児童養護施設や乳児院などの施設で生活しています。「里親制度」は、家庭で生活することができない子どもたちを、家族の一員として迎え入れ、愛情をもって家庭で育ていく「子どものための制度」です。



▲横浜市子ども虐待防止キャラクター「キャッピー」ポートフォミリーVer.

本市では、一人でも多くの子どもが里親家庭で暮らせるように、里親を募集しています。

家庭で育つあたたかさ愛情を、子どもたちへ!

里親の活動内容

親と暮らすことができない子ども(18歳未満)と里親家庭と一緒に過ごします。期間は、親が養育できるようになるまで、または子どもが自立するまでの数週間から数年、十数年と子どもの状況によって異なります。

里親の種類

- ①養育里親…子どもを一定期間、養育する里親
- ②養子縁組里親…特別養子縁組で親子となることを前提とする里親

子どもの受け入れまで段階を踏むので安心!

- ①相談 お住まいの区を管轄する児童相談所での相談
- ②研修・家庭訪問 里親制度や子どもの権利擁護を学び、乳児院などで実習
- ③認定・登録 児童福祉審議会などの審議を経て、里親に認定・登録
- ④子どもとの出会い 子どもと面会し、外出や数日間の宿泊などで交流
- ⑤里親委託

各児童相談所

横浜市 里親 [検索](#)

中央児童相談所	☎260-6510	神奈川、鶴見、中、西、南
西部児童相談所	☎331-5471	旭、泉、瀬谷、保土ケ谷
南部児童相談所	☎831-4735	磯子、金沢、港南、栄、戸塚
北部児童相談所	☎948-2441	青葉、港北、都筑、緑

【問合せ】こども青少年局こども家庭課 ☎671-2394 ㊟681-0925

ひきこもりなどの困難を抱える若者の自立支援

まずは相談を!

ひきこもりなどの困難を抱えるおおむね15歳から39歳の若者の状態に合わせて、本人や家族からの相談を受け、継続的な支援を実施しています。

ひきこもり等の若者支援セミナー・相談会

ひきこもりなどの若者の理解を深めるために、若者の自立支援機関である地域ユースプラザが、困難を抱える若者の現状や、若者への関わり方などについてのセミナーや相談会を市内全区で順次実施しています。

若者に関する総合相談	横浜市青少年相談センター(ひきこもり地域支援センター)	☎260-6615	月～金曜 8時45分～17時(祝休日を除く) ひきこもりに関する一次相談は、年齢にかかわらず受付
ひきこもりからの回復期にある若者の居場所・総合相談(※1)	よこはま東部ユースプラザ	☎642-7001	神奈川、鶴見、中、西、南
	よこはま西部ユースプラザ	☎744-8344	旭、泉、瀬谷、保土ケ谷
	よこはま南部ユースプラザ	☎761-4313	磯子、金沢、港南、栄、戸塚
	よこはま北部ユースプラザ	☎948-5503	青葉、港北、都筑、緑
就労に向けた総合相談・講座・就労体験(※2)	よこはま若者サポートステーション	☎290-7234	月～土曜 10時～18時 (第3月曜(祝休日の場合は第2月曜)・祝休日を除く)
	湘南・横浜若者サポートステーション	☎0467-42-0203	月～金曜 10時～18時(祝休日を除く)

※各施設を利用する際は、事前に電話で相談してください。

※1 区役所で出張相談(月2回、予約制)も実施しています。

※2 令和2年度から「サポステ・プラス」として、40歳から49歳までの方とその家族も支援します。

詳しくはウェブページを確認してください。



横浜市 若者自立支援 [検索](#)

【問合せ】こども青少年局青少年育成課 ☎671-2324 ㊟663-1926

はま情報

今月11日以降の、市や外郭団体などが主催・共催の事業を掲載しています

- ◆市の施設では、定期点検などのため、休業日を設けています。また、入館料・入園料などは変更になる可能性があります。
- ◆特に記載のないものは、無料・自由参加・締切日必着・はがき1枚に1人です。
- ◆各イベント等の終了時間は予定です。
- ◆**※要事項**とある場合は、行事名・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・往復はがきの場合は返信面を明記してください。

マークの説明 ㊟日時・期間 ㊞会場 ㊟費用 ㊟保育 ㊟申込み ㊟問合せ ㊟行事名 ㊟コース ㊟郵便番号・住所
㊟氏名(ふりがな) ㊟電話 ㊟ファクス ㊟年齢 ㊟往復はがき ㊟はがき ㊟ホームページ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、掲載中のイベント等は中止・延期となる場合がありますので、事前に問合せ先へご確認ください。

募集

市民病院 脳卒中・神経脊椎センター

横浜市立病院 看護職員募集
 (横浜市看護職員採用) 

市立高等特別支援学校 就労支援指導員(市会計年度任用)
 詳細は申込書(㊟から入手)で
 ㊟10月23日まで
 ㊟教育委員会特別支援教育課(㊟671-3958 ㊟663-1831)

市立小・中・特別支援・義務教育学校 学校司書(市会計年度任用)
 選考50人。詳細は10月19日から㊟で
 ㊟11月12日まで
 ㊟教育委員会小中学校企画課(㊟671-3588 ㊟664-5499)

市立小学校外国人講師(市会計年度任用)
 英語と日本語の日常会話ができる外国人(日本国籍取得者含む)。選考。詳細は㊟で
 ㊟11月13日まで
 ㊟教育委員会小中学校企画課(㊟671-3588 ㊟664-5499)

全日本学生音楽コンクール 市民賞選定員
 16歳以上、各部門抽選15人。詳細は㊟で
 ㊟11月24日(火)～30日(月)
 ㊟みなとみらいホール
 ㊟10月16日まで
 ㊟文化観光局文化振興課(㊟671-3714 ㊟663-5606)

福祉調整委員会 市民委員
 選考1人。2021年4月から2年間。詳細は㊟で
 ㊟11月11日まで
 ㊟健康福祉局相談調整課(㊟671-4045 ㊟681-5457)

市民委員
 ①地域まちづくり推進委員会
 ②ヨコハマ市民まち普請事業部会
 20歳以上、各選考2人。2021年4月から2年間。詳細は㊟で
 ㊟11月30日まで
 ㊟都市整備局地域まちづくり課(㊟671-2696 ㊟663-8641)

高齢者向け優良賃貸住宅
 ①入居者
 ②空家待ち登録者
 市認定の民間住宅。60歳以上。①西区浅間町、抽選23戸、2021年3月予定②青葉区市ヶ尾町ほか。詳細は問合せを
 ㊟①10月16日まで
 ②10月23日～11月6日
 ㊟①住宅供給公社(㊟451-7766 ㊟451-7707)②丸西建物管理(㊟482-7866)か建築局住宅政策課(㊟671-4121 ㊟641-2756)

市営住宅入居者
 抽選638戸。詳細は㊟で
 ㊟10月23日まで

㊟住宅供給公社(㊟451-7777 ㊟451-7769)

ユニット型特別養護老人ホーム 入居者
 要介護3～5の認定者、要介護1・2で特例要件該当者。各選考。①②110人③150人④29人⑤50人。令和3年度予定。詳細は問合せか㊟で
 ①《神奈川区》あさくら苑 新子安(青葉あさくら苑内、㊟507-4313)
 ②《港南区》泉の郷日野南(誠幸会泉の郷内、㊟800-1800)
 ③《金沢区》横濱かなざわ翔裕園(大田翔裕園内、㊟03-3736-1211)
 ④《緑区》しょうじゅの里三保サテライト(㊟921-0013)
 ⑤《保土ヶ谷区》レジデンシャル常盤台(㊟348-8001)
 ㊟11月20日まで
 ㊟各施設か健康福祉局高齢施設課(㊟671-3923 ㊟641-6408)

下水道排水設備工事責任技術者
 ①更新講習会②試験
 ㊟①11月19日(火)・20日(水)の希望日
 ②2月4日(木)
 ㊟6,400円
 ㊟11月30日までに申込書(①対象者へ10月下旬発送②11月2日～16日に環境創造局管路保全課で配布)で
 ㊟県下水道協会(㊟044-200-2874)か環境創造局管路保全課(㊟671-2829 ㊟641-5330)

福祉・高齢

個別ぜんそく相談
 各日先着。①15歳以上、2人②15歳未満、3人
 ㊟①11月11日・12月9日・1月13日・2月10日の水曜14時～15時30分
 ②11月19日・12月17日・1月21日・2月18日の木曜14時～16時
 ㊟みなと赤十字病院
 ㊟10月12日から㊟で健康福祉局保健事業課(㊟671-3824 ㊟663-4469)

障害者パソコン講習会
 ①ファイル管理②ワードスキルアップ③エクセルスキルアップ④パソコン入門
 15歳以上(中学生除く)の肢体・内部・精神・聴覚等障害者、各抽選4人。
 ①文字入力可能な人②③基礎受講者④初心者
 ㊟各13時～16時。①11月12日(木)
 ②11月16日(月)・17日(火)、全2回
 ③11月18日(水)・20日(金)、全2回
 ④11月24日(火)・25日(水)、全2回
 ㊟横浜ラポール
 ㊟①250円②③500円④1,600円
 ㊟10月20日までに㊟に㊟要事項㊟㊟㊟㊟障害名・等級、手話・筆記通訳希望、介助・車いす利用の有無を書いて、**障害者社会参加推進センター**(〒222-0035港北区鳥山町1752、㊟475-2060 ㊟475-2064)
 ㊟申込先か健康福祉局障害自立支援課(㊟671-3602)

講座 「補聴器でも聞き取りにくい方へ」
 要事前申込。詳細は問合せを
 ㊟10月25日(日)13時～15時
 ㊟崎陽軒本店
 ㊟日本コフレア(㊟03-3817-0243 ㊟03-3817-0245)か市大耳鼻咽喉科(㊟787-2687)

講座「聞こえと補聴器」
 聞こえに不安のある人と家族、各抽選。①45人②③40人
 ㊟①11月4日(水)13時30分～16時
 ②11月13日(金)13時30分～16時
 ③11月28日(土)10時～12時
 ㊟①ウィリング横浜②横浜ラポール③社会福祉センター
 ㊟10月23日までに㊟に㊟要事項㊟㊟希望日(複数可)、手話・筆記通訳希望の有無を書いて、**障害者社会参加推進センター**(〒222-0035港北区鳥山町1752、㊟475-2060 ㊟475-2064)
 ㊟申込先か健康福祉局障害自立支援課(㊟671-3602)

養育費セミナー
 ひとり親家庭か離婚予定の親、抽選20人。詳細は㊟で
 ㊟11月25日(水)9時45分～11時45分
 ㊟青少年育成センター
 ㊟1歳6か月～未就学児(予約制)
 ㊟10月30日まで
 ㊟ひとり親サポートよこはま(㊟227-6337 ㊟227-6338)か子ども青少年局子ども家庭課(㊟671-2390)

中央職業訓練校 12月生募集
 ①OA経理科(初級)
 ②医療・介護事務OA科
 離職中の求職者(ひとり親家庭の親、生活保護受給者の優先枠あり)、各科選考20人。費用等詳細は10月5日から申込書(ハローワークで配布)か㊟で
 ㊟12月～2021年3月
 ㊟11月12日まで
 ㊟説明会 10月28日(水)10時・14時、問合せ先で開催
 ㊟会場の中央職業訓練校(㊟664-6825 ㊟664-2081)

講演・講座

市大エクステンション講座 「みんなで予防するインフルエンザ」
 先着50人。詳細は㊟で
 ㊟11月26日(木)10時～12時
 ㊟ウィリング横浜
 ㊟10月12日から㊟で市大地域貢献センター(㊟787-8930 ㊟701-4338)

わらべうたと絵本の会 ボランティア講座
 各先着。①15人②12人。詳細は㊟で
 ㊟各10時～12時、全3回
 ①11月12・19・26日の木曜
 ②12月2・9・16日の水曜
 ㊟①金沢地区センター②泉図書館


㊟①10月14日から②11月12日から
 ㊟中央図書館企画運営課(㊟262-7334 ㊟262-0052)

成年後見制度がよくわかる講習会
 各先着40人。詳細は㊟で
 ㊟各9時30分～12時
 ①11月12日(木)②12月17日(木)
 ㊟①ウィリング横浜
 ②健康福祉総合センター
 ㊟①10月15日から②11月19日から
 ㊟横浜生活あんしんセンター(㊟201-2088 ㊟201-9116)

講演「子どもの人権 コロナ禍での生きる力」
 先着130人。詳細は10月5日から㊟で
 ㊟11月16日(月)10時30分～12時
 ㊟関内ホール
 ㊟10月13日から
 ㊟よこはまユース(㊟662-4170 ㊟662-7645)

催し

JCI世界会議横浜大会
 政治・経済・社会等のセミナーほか。要事前申込。詳細は10月11日から㊟で
 ㊟11月3日(火・祝)～7日(土)
 ㊟パシフィコ横浜ノース
 ㊟文化観光局MICE振興課(㊟671-4234 ㊟663-6540)

2020 JCI 世界会議 横浜大会を 開催します!
 詳細はこちらから 

子どものためのバレエ公演 市民先行優待販売
 東京バレエ団「ドン・キホーテの夢」。4歳以上、各日抽選
 ㊟1月23日(土)・24日(日)15時～16時10分
 ㊟関内ホール
 ㊟¥3,000円、中学生以下1,000円
 ㊟11月9日までに㊟で
 ㊟神奈川芸術協会(㊟453-5080 ㊟441-7949)か横浜アーツフェスティバル実行委員会(㊟663-1365)



photo:Kiyonori Hasegawa

青少年のための音楽会 横響
 三大バレエ音楽くるみ割り人形(チャイコフスキー)ほか
 ㊟12月13日(日)14時～16時
 ㊟県民ホール
 ㊟¥1,000円。10月26日からチケットポータル横浜店で販売
 ㊟事務局(㊟080-3308-1321)か文化観光局文化振興課(㊟671-3714 ㊟663-5606)

秋のローズ&ガーデンマーケット
産地直送・地産地消をテーマにバラ苗や横浜野菜・果物などを販売。詳細は [HP](#) で
📅10月31日(土)10時～16時・11月1日(日)10時～15時30分。荒天中止
📍日本大通り
📞環境創造局みどりアップ推進課(☎671-2629 ㊟224-6627)

食と農の祭典2020
市内産農産物の販売ほか。詳細は10月26日から [HP](#) で
📅11月5日(木)11時～15時
📍市役所アトリウム
📞環境創造局農業振興課(☎671-2639 ㊟664-4425)

ハマ展
洋画・日本画・彫刻立体・写真
📅11月4日(水)～14日(土)の10時～18時
📍市民ギャラリー
📞横浜美術協会(☎・㊟251-1156) か文化観光局文化振興課(☎671-3714)

リレー・フォー・ライフ・ジャパン横浜
がん征圧・患者支援チャリティーウォーク。費用等詳細は [HP](#) で
📅10月24日(土)13時～19時。荒天中止
📍臨港パーク
📞実行委員会(池田☎090-7901-8718) か医療局がん・疾病対策課(☎671-2721 ㊟664-3851)

フォトゲイニング in 横浜
先着300人、1組2～5人。ハンマーヘッド発着。名所を巡りながらチームで得点を競うウォーキング
📅11月29日(日)9時30分～15時
📍1人3,000円
📞10月12日から [HP](#) で
📞市民局オリンピック・パラリンピック推進課(☎671-3690 ㊟664-1588)

お知らせ

国勢調査の調査票は早めに提出を
📍居住区の区役所統計選挙係か政策局統計情報課(☎671-4207 ㊟663-0130)

市民意識調査に協力を
18歳以上、5,000人へ調査票を10月上旬に送付、郵送かインターネットで回答
📍政策局政策課(☎671-2028 ㊟663-4613)

令和2年度 個人市民税・県民税納期限(第3期)
📅11月2日(月)
📍居住区の区役所税務課か財政局税務課(☎671-2253 ㊟641-2775)

市有地の公募売却
価格等詳細は10月上旬から募集要領(区役所広報相談係で配布)か [HP](#) で
📍財政局取得処分課(☎671-2264 ㊟662-5369)

就学援助制度 入学準備費の申請
10月中旬発送の就学通知に申請書を同封。2021年4月に市立小学校・義務教育学校へ入学させるのに経済的に困難な人は申請を
📅11月4日～10日
📍就学予定校か教育委員会学校支援・地域連携課(☎671-3270 ㊟681-1414)

花苗などを助成
よこはま緑の推進団体に加入の団体。一部自己負担あり。詳細は問合せを
📅10月23日までに申込書(10月5日～16日に [☎](#)で問合せ先に請求)で
📍緑の協会(☎228-9470 ㊟641-0821)

よこはま ふれあい助成金
市社協受付分。詳細は [HP](#) で
📅12月1日～18日

▷説明会 11月25日(水)13時30分、健康福祉総合センターで開催
📍社会福祉協議会(☎201-8620 ㊟201-1620)

10月からロタウイルスワクチン 定期予防接種開始
8月1日以降に生まれた子。対象者には生後2か月頃に予診票を送付。詳細は [HP](#) で
📍協力医療機関
📍予防接種コールセンター(☎330-8561 ㊟664-7296)

コンビニ交付サービスの一時休止
住民票など証明書の取得は区役所か行政サービスコーナーの利用を
📅10月19日(月)終日
📍市民局窓口サービス課(☎671-2176 ㊟664-5295)

季刊誌「横浜」70号発売
「ヨコハマ秋散歩」。デジ版は11月下旬から市役所市政刊行物・グッズ販売コーナーで販売
📅10月20日(火)
📍県内・都内の主な書店ほか
📍¥630円。デジ版は600円
📍市民局広報課(☎671-2331 ㊟661-2351)

市民意見募集
(仮称)空家等の適切な管理に関する条例案の骨子
資料の閲覧・配布は期間中、市役所市民情報センター、区役所広報相談係、問合せ先で。 [HP](#) から可
📅10月1日～30日
📍建築局建築指導課(☎671-4530 ㊟681-2434)

広報企画審議会
広報・広聴に関する審議等
📅11月11日(水)14時～16時
📍市役所
📍市民局広報課(☎671-2331 ㊟661-2351)

施設

みなとみらいホール
☎682-2000 **㊟**682-2023
市招待国際ピアノ演奏会特別公演
📅11月7日(土)14時～17時
📍¥4,000円、会場で販売中

横浜能楽堂
☎263-3055 **㊟**263-3031
眠くならずに楽しめる能の名曲
 狂言「夷毘沙門」、能「小鍛冶 白頭」
📅12月12日(土)14時～16時15分
📍¥3,000円～4,000円、10月17日10時から [HP](#) で

男女共同参画センター横浜北
☎910-5700 **㊟**910-5755
オンラインセミナー「介護で仕事を辞めないために」
 先着15人
📅11月3日(火・祝)14時30分～16時
📍10月11日から [HP](#) で

歴史博物館
☎912-7777 **㊟**912-7781
展示「俳優緒形拳とその時代」
📅10月3日(土)～12月6日(日)
📍¥500円

人形の家
☎671-9361 **㊟**671-9022
セルロイド人形ってなあに？展
📅11月8日(日)まで
📍¥600円

戦没者追悼式への一般参列者の募集はありません
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は参列者の一般募集は行いません。
📍健康福祉局援護対策担当(☎671-2425 ㊟664-0403)

「ひつじのショー」が案内する横浜・横須賀めぐり サイクルスタンプラリー vol.2

横浜・横須賀市内のイギリスにゆかりのある施設を自転車で巡って、デジタルスタンプを集めよう！
【期間】12月15日(火)まで
【スタンプポイント】
 市内5か所、横須賀市内5か所の計10か所
【参加費】無料
【参加方法】
 ウェブページにアクセスして、参加登録してください。スタンプポイントの二次元コードを読み取り、デジタルスタンプを集めると、賞に応募できます。
 ※新型コロナウイルス感染症対策として、デジタルスタンプを導入しています。



SHAUN THE SHEEP AND SHAUN'S IMAGE ARE ™ AARDMAN ANIMATIONS LTD. 2020
 英国と横浜をつなぐ親善大使「ひつじのショー」



▲スタンプラリーの詳細や参加登録はこちら

- 【参加特典】**
- 先着参加賞 (2,000人)** スタンプを2個集めると「ひつじのショーオリジナル反射素材キーホルダー」をプレゼント
 - 抽選賞 (計113人)** スタンプ獲得数(5、7、10個)に応じて、抽選で「ひつじのショーオリジナルサイクルジャージ」などの賞品をプレゼント

【問合せ】道路局交通安全・自転車政策課 ☎671-3644 ㊟663-6868

市内観光・MICE 復興支援事業 Find Your YOKOHAMA キャンペーン

新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受けた市内の観光・MICE産業を支援するため、本市では感染症拡大防止策を徹底しながら、観光・MICE支援施策を「Find Your YOKOHAMA キャンペーン」として実施しています。

- 新型コロナウイルス感染症 拡大防止策**
- ・スタッフ・旅行者に対する検温の実施
 - ・マスクの着用・手指の消毒
 - ・三密の回避・対人距離の確保

※旅行関係業界が定めたガイドラインに基づき旅行者・事業者の双方に徹底しています。

① 本市ならではの体験ができる日帰り旅行商品
【販売予定期間】2021年2月28日(日)まで
【実施内容】本市助成により税抜価格から50%割引
【販売サイト】ポケカル特設ページ



② 市内宿泊促進プロモーション
【販売予定期間】2021年2月28日(日)まで
【実施内容】宿泊金額に応じて、1,000円・3,000円・5,000円のいずれかの割引クーポンを付与
【販売サイト】近畿日本ツーリスト特設ページ
 ※実施内容の詳細は各ウェブページを確認してください。
 ※①、②ともに「GoToトラベルキャンペーン」と併用できる場合があります。



【問合せ】文化観光局観光振興課 ☎671-2589 ㊟663-6540

よこはま地域包括ケア計画の素案について、 ご意見を募集します！

～第8期 横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画～

高齢者に関する保健福祉事業や介護保険制度の円滑な実施に関する総合的な計画として、3年ごとに策定しています。団塊の世代全員が75歳以上となる2025年及び、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年を見据えて高齢者福祉施策を推進していくための計画として策定します。

【お知らせ】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区ごとに実施を予定していた市民の皆さんへの説明会は中止させていただきます。



(令和2年10月下旬公表予定)

ご意見・ご提案をお寄せください！

いただいたご意見等は、計画策定の参考にさせていただきます。

【実施期間】10月30日(金)～12月4日(金)

計画の素案は、市民情報センター(市庁舎3階)、各区役所、地域ケアプラザ、老人福祉センター、地区センターなどに配架します。また、ウェブページにも掲載予定です。

ご意見・ご提案の提出には郵送、電子メールをはじめ、さまざまな方法があります。詳しくは素案またはウェブページをご覧ください。



横浜市 第8期計画 パブコメ

検索

【問合せ】健康福祉局高齢健康福祉課 ☎671-3412 📠550-3613

令和元年度 一般会計決算の概要

市会で審議されている令和元年度一般会計決算の概要をお知らせします。

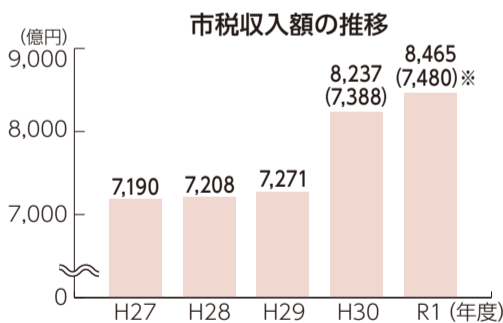
※各数値は、項目ごとに表示単位未満を四捨五入しているものがあるため、差引額などは一致しない場合があります。

令和元年度一般会計の決算は、歳入決算額1兆7,578億円、歳出決算額1兆7,400億円となりました。また、歳入から歳出を差し引いた形式収支から、令和2年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支は42億円となりました。

歳入	A	1兆7,578億円
歳出	B	1兆7,400億円
形式収支	C=A-B	179億円
繰越財源	D	136億円
実質収支	E=C-D	42億円

市税収入は4年連続の増収、市税収納率は前年度と同率を維持

給与所得納税者数の増や県費負担教職員の本市移管に伴う税源移譲の平年度化などによる個人市民税の増、企業収益の減少などによる法人市民税の減、新增築家屋の増などによる固定資産税の増などにより、4年連続の増収となりました。また、市税収納率は99.2%となりました。

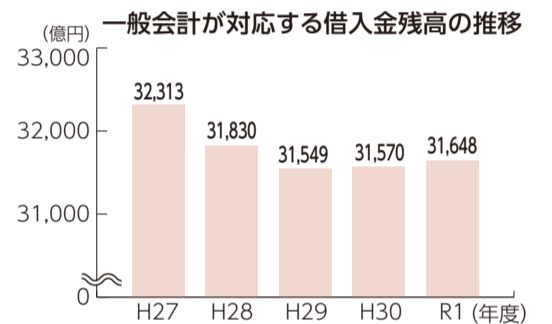


※()内の数値は、市税収入額から県費負担教職員の本市移管に伴う税源移譲を除いた額であり、前年度比91億円の増収。

一般会計が対応する借入金残高の適切な管理

特別会計・企業会計・外郭団体を含めた「一般会計が対応する借入金残高」は、中期4か年計画(2018～2021)に掲げた財政目標※を踏まえた計画的な市債活用などにより、前年度末に比べ78億円増の3兆1,648億円となりました。

※一般会計が対応する借入金残高は、令和3年度末に平成29年度末残高の水準以下。



中期4か年計画(2018～2021)の推進と台風第15号等の被災対応

令和元年度は、待機児童対策をはじめとする子育て支援や子どもの貧困対策、教育の環境と質の向上、地域包括ケアシステムの構築・推進、防災・減災対策などを進めました。10月からの消費税率引き上げにあわせ、幼児教育・保育無償化が始まるとともに、本市独自の取組として小児医療費助成の通院対象を拡大するなど、取組の強化を図りました。

また、9月に発生した台風第15号等の被災対応として、金沢臨海部産業団地等の被災企業復旧支援や、金沢水際線護岸といった港湾施設等の復旧を進めました。

新型コロナウイルス感染症への対応では、検査体制の充実等を行うとともに、市内中小企業への資金繰りを支援するための融資制度の創設・拡充など、必要な対応に取り組みました。



横浜市 決算

検索

【問合せ】財政局財政課 ☎671-2231 📠664-7185

よこはま運河チャレンジ2020

～運河のある日常 Living with the canal～

横浜の都心部を流れる大岡川・中村川～堀川はかつて運河として活用されていました。実りの秋、地元のおいしいランチや銘菓に舌鼓を打ちながら、運河や港を楽しむクルーズに参加しませんか。

【日時】11月14日(土)、15日(日)

【内容】横浜日ノ出棧橋と石川町仮設棧橋をつなぐ2ルート

①みなとコース(横浜港回り)

※新港ふ頭さん橋にて下船可(乗船不可)

②吉田新田コース(蒔田公園回り)

【主催】よこはま都心部水上交通実行委員会

【申込方法】10月19日(月)からウェブページで先着順に受付

詳しくは、10月5日に公開予定のウェブページを確認してください。

よこはま運河チャレンジ

検索

【問合せ】都市整備局都心再生課 ☎671-4247 ☎664-3551

令和3年

「成人の日」を祝うつどいについて

令和3年「成人の日」を祝うつどいは、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、令和3年1月11日(月・祝)に横浜アリーナおよびパシフィコ横浜ノースの2会場でそれぞれ4回ずつ、計8回の式典を開催します。

また、当日の式典の様子は本市ウェブページでライブ配信します。

	開場時間	開催時間	会場	対象区
第1回	9時30分	10時30分～ 10時45分	横浜アリーナ パシフィコ横浜ノース	港北・都筑 神奈川・保土ケ谷
第2回	11時30分	12時30分～ 12時45分	横浜アリーナ パシフィコ横浜ノース	青葉・緑 旭・西
第3回	13時30分	14時30分～ 14時45分	横浜アリーナ パシフィコ横浜ノース	泉・港南・栄・瀬谷 金沢・中
第4回	15時30分	16時30分～ 16時45分	横浜アリーナ パシフィコ横浜ノース	鶴見・戸塚 磯子・南

※今後の感染状況等により、式典が中止となる場合もあります。

※入場券は12月中旬頃に対象者へ郵送します。

横浜市 成人の日を祝うつどい

検索

【問合せ】教育委員会事務局生涯学習文化財課 ☎671-3282 ☎224-5863

横浜文化賞 令和2年度受賞者決定

贈呈式・記念コンサートにご招待します

芸術・学術などの文化の発展に尽力し、その功績が顕著な人・団体に「横浜文化賞」を、文化・芸術の分野で今後の活躍が期待される人・団体に「文化・芸術奨励賞」を贈呈しています。令和2年度受賞者はウェブページを確認してください。

贈呈式・記念コンサート

令和2年度「横浜文化賞」の贈呈式と平成30年度「横浜文化賞」を受賞した「横浜市民広間演奏会」による記念コンサートを開催します。

【日時】11月18日(水)13時30分～15時30分

※コンサートは約30分

【会場】みなとみらいホール(西区みなとみらい2-3-6)

【定員】抽選100人(市内在住・在勤・在学)

【申込方法】往復はがきに、①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)④電話番号⑤人数(2人まで)⑥在勤・在学の方は勤務先・学校名⑦手話通訳希望の有無⑧車いす来場の有無⑨返信面に住所・氏名を記入の上、10月23日(金)必着。

【宛先】〒231-0005 中区本町6-50-10

「横浜市文化観光局 横浜文化賞担当」

横浜文化賞

検索

【問合せ】文化観光局文化振興課 ☎671-3714 ☎663-5606

令和2年度

高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担無償化について

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、今冬の季節性インフルエンザの流行期に備え、高齢者インフルエンザ予防接種の対象となる、より多くの方が予防接種を実施できるよう、予防接種費用の自己負担を令和2年度については無償化します。

【対象】市内に住民登録があり、本人が接種を希望し、接種日現在で次のいずれかに該当する方

(1)65歳以上の方

(2)60歳以上65歳未満で、次のいずれかに1級相応の障害がある方①心臓 ②じん臓 ③呼吸器の機能 ④ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害

【期間】10月1日(木)から12月31日(木)まで

【実施場所】協力医療機関(詳しくは、かかりつけ医や、ウェブページ、区役所窓口などで確認してください。)

【費用】無料(例年は免除対象者を除き、自己負担2,300円)



【問合せ】予防接種コールセンター ☎330-8561 ☎664-7296
(月～金曜(祝休日除く)9時～17時)

「広報よこはま」に掲載されているイベント等は、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で開催しています。

詳しくは各問合せ先、または各ウェブページで確認してください。